

令和年7年3月12日（水）

富山県ものづくり産業未来戦略フォローアップ会合

富山県ものづくり産業未来戦略 （R6.3改定版）の進捗状況

富山県商工労働部

※進捗状況の詳細については、参考資料 2 をご覧ください。

・富山県ものづくり産業未来戦略の概要	・・・ 2
・戦略の進捗状況	
目標指標の動向	・・・ 5
1. 企業間・産学官連携（オープンイノベーション）の推進による新たな付加価値の創出	・・・ 6
2. ものづくりを担う人材の育成・確保	・・・ 8
3. 産業集積を活かした成長産業の企業誘致、アジア等への海外展開等への支援	・・・ 10
4. 中小・小規模企業に対する総合的支援	・・・ 12

戦略の改定（R6.3）

ものづくり産業を取り巻く状況等

- ・国際情勢の急激な流動化など世界経済の不確実性の高まり
- ・サプライチェーン強靱化、物価高騰に伴う生産コスト削減や価格転嫁等コスト負担の在り方に係る課題
- ・カーボンニュートラルをはじめとする気候変動や人権問題を含む社会のサステナビリティへの対応の要請
- ・GX、DXの加速化に向けた支援及び競争力の源泉となる「人への投資」重点化の動き
- ・生産年齢人口の減少、人手不足感の高まり、デジタル人材など求められる人材の多様化
- ・ウェルビーイングが重視され、エンゲージメントを感じられる組織づくりの必要性 など

基幹産業の「ものづくり産業」の
課題に戦略的に対応

富山県ものづくり産業未来戦略の改定(R6.3)

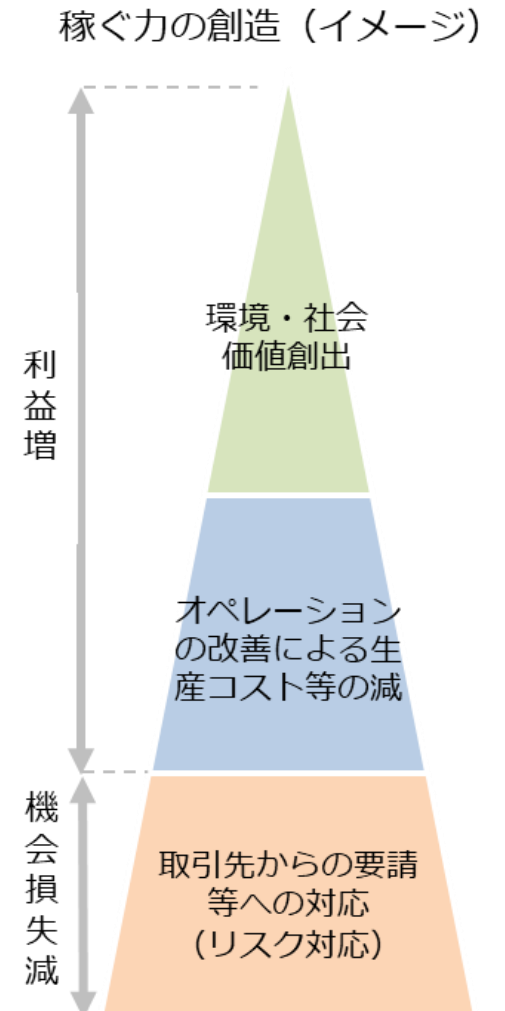
計画期間

2024（R6）年度～2030（R12）年度まで

本県ものづくり産業が目指すべき将来像

各企業が環境・社会課題の解決に向けた積極的な投資による新たな価値を創出・提供し、長期的かつ持続的な成長原資（稼ぐ力）を創造していく。

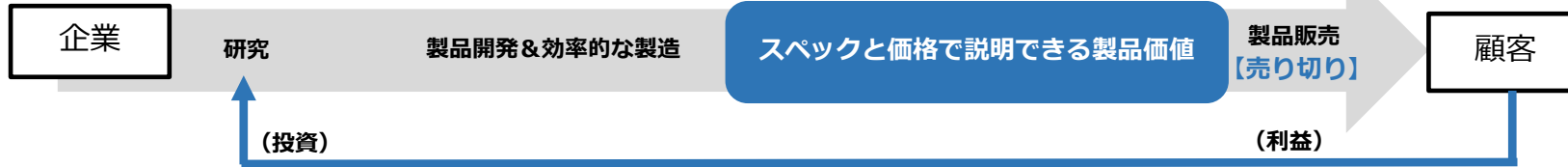
その活動の見える化により、顧客や社会の共感や支持を得ることで、企業の魅力や評価が向上し、投資や人材を呼び込み、更なる成長へとつなげる好循環を実現し、競争力を高めていく。



本県のものづくり産業の目指すべき将来像の実現（イメージ）

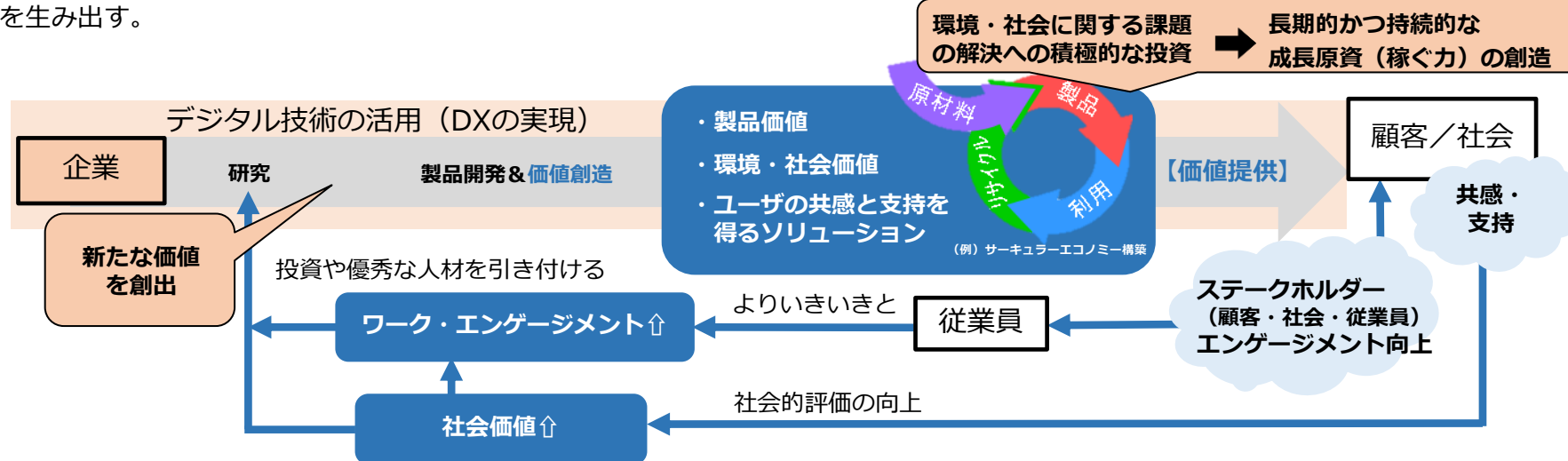
これまでの価値循環

- 企業は製品を顧客に**売り切り**の形で販売する。顧客に提供される価値は「**スペックと価格で説明できる製品価値**」。



新たな価値循環

- ものづくり企業が、環境・社会に関する課題の解決に向けて投資し、顧客や社会に対して「製品価値」に加え、「**環境・社会価値**」や「**ユーザーの共感と支持を得るソリューション**」などの抽象的な価値を提供する。
- 顧客や社会はそれらの価値に共感・支持し、エンゲージメントを高める。あわせて従業員のワーク・エンゲージメントが高まる。
- 共感を得た顧客や社会からの社会的評価の向上や、エンゲージメントが高まった従業員のいきいきと働く姿により、企業には投資や優秀な人材が引き寄せられる。
- これらのリソースを研究開発に投入することで、イノベーションを起こし「**新たな価値**」の創出に繋げることで、成長の好循環を生み出す。



施策の方向性

目指すべき将来像の実現に向けた「4つの施策の方向性」をもとに戦略を推進

1 企業間・産学官連携（オープンイノベーション）の推進による新たな付加価値の創出

○産学官連携による成長産業分野への技術開発の支援

①グリーン②モビリティ③デジタル技術基盤④医薬・バイオ・ヘルスケア

○ものづくり産業における富山モデルの創出

○「くすりのシリコンバレー T O Y A M A」創造コンソーシアムや、とやまアルミコンソーシアム、とやまヘルスケアコンソーシアムのオープンイノベーションによる研究開発プロジェクトの深化

○スタートアップ支援

○大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化

3 産業集積を活かした成長産業の企業誘致、アジア等への海外展開等への支援

○成長分野の企業、本社機能・研究開発拠点等の誘致

○販路開拓、ものづくり技術の発信

○県内企業のグローバルなビジネス展開や販路開拓の支援

○物流の効率性への支援と安定性の確保

2 ものづくりを担う人材の育成・確保

○ものづくり産業の経営者・従業員のウェルビーイングの向上

○デジタル・バイオ等の先端技術を活用できる高度技術人材の育成・確保

○リスクリング支援などを通じた職業能力開発の充実

○女性活躍の推進

○外国人材の活用や多様な人材の確保・活躍の推進

○就職期の若者等へのアプローチの強化

○中高生及び大学生のものづくり職場体験等の機会充実

4 中小・小規模企業に対する総合的支援

○中小・小規模企業のD X、G X支援

○適切な価格転嫁の実現に向けた支援

○技術等のある企業の事業承継支援

○防災・減災対策のための事業継続支援

○県と(公財)富山県新世紀産業機構が一体となった総合的支援

目標指標の動向

■ 全体指標

本県製造業全体の動向を把握する指標

指標名	基準（R3年度）	実績（R4年度）	目標値(R12年度)	達成見通し
県内製造業の付加価値額	1兆4,380億円 出典：経済構造実態調査	1兆4,412億円 出典：経済構造実態調査	1兆8,400億円	達成可能

■ 目標

施策の方向性毎に進捗状況を確認する目標

施策の方向性	目標項目名	基準	実績	目標値(R12年度)	達成見通し
①企業間・産学官連携（オープンイノベーション）の推進による新たな付加価値の創出	産学官オープンイノベーションの共同研究の件数	323件 (H29～R5年度累計)	50件（R5年度） 57件（R6年度※R7.1末時点）	340件以上 (R6～12年度累計)	達成可能
②ものづくりを担う人材の育成・確保	ものづくり人材の育成数 (中高大学生・社会人)	4,800人程度 (R4年度) ・中高大学生4,600人 ・社会人200人	5,260人程度（R5年度） 5,360人程度（R6年度※R7.1末時点）	現状以上	達成可能
	県内製造業における女性従業者割合	31.4%（R3年度）	— ※経済センサス年度のみ	3%以上の上昇	—
③産業集積を活かした成長産業の企業誘致、アジア等への海外展開等への支援	企業立地件数	62件（R4年度）	40件（R5年度）	68件以上	要努力
	海外販路開拓に関するサポート件数	191件（R4年度）	302件（R5年度） 276件（R6年度※R7.1末時点）	225件以上	達成可能
④中小・小規模企業に対する総合的支援	県内中小企業（製造業）の従業者1人あたりの付加価値額	982万円（R3年度）	981万円（R4年度）	1,240万円以上	要努力
	中小企業支援センター、よろず支援拠点及び事業引継ぎ支援センターにおける相談件数	6,707件（R4年度）	6,815件（R5年度） 5,848件（R6年度※R7.1末時点）	4,470件以上	達成可能

1. 企業間・産学官連携（オープンイノベーション）の推進による新たな付加価値の創出

目標項目名	基準	実績	目標値(R12年度)	達成見通し
産学官オープンイノベーションの共同研究の件数	323件 (H29～R5年度累計)	50件 (R5年度) 57件 (R6年度(※)) ※R7.1末時点	340件以上 (R6～12年度累計)	達成可能

進捗状況及び今後の方向性

○産学官オープンイノベーションの共同研究の件数は順調に推移している。

（内訳）グリーン:21件、モビリティ:2件、デジタル技術基盤:10件、医薬・ヘルスケア:15件、その他:9件

○引き続き、成長産業分野（グリーン、モビリティ、デジタル技術基盤、医薬・バイオ・ヘルスケア）を中心に産学官連携・企業間連携を推進するほか、アルミ産業をはじめとしたサーキュラーエコノミーの推進に取り組んでいく。また、本県が強みを持つヘルスケア分野におけるスタートアップの誘致や、企業内資源を活用したイントレプレナーの育成などを推進し、県内ものづくり産業の新たな付加価値の創出につなげていく。

1. 企業間・産学官連携（オープンイノベーション）の推進による新たな付加価値の創出

令和7年度の主な事業

○ 産学官オープンイノベーション推進事業 9,205万円

※金額は原則令和7年度当初予算案額

成長産業分野及びサーキュラーエコノミーに関する産学官連携による研究会活動の実施や新製品・新技術の研究開発を支援

○ 大学・高専発シーズ加速化事業 500万円

県内の大学や高専が有する技術シーズを活用した企業との共同研究課題を支援し、県内企業への技術移転や新たな製品開発を推進

○ 地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業 2億1,247万円

県内の産学官によるコンソーシアムを構築し、医薬品産業の振興や専門人材の育成を推進

○ アルミ産業成長力強化戦略推進事業 4,654万円

循環型アルミ産業網の競争力を強化するため、アルミのリサイクルに向けた研究開発の支援や人材育成等を実施

○ ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業 1,600万円

県内ものづくり産業におけるサーキュラーエコノミー(循環経済)の推進に向けた普及啓発やクリエイティブ人材を活用した異業種連携推進

○ とやまヘルスケアベンチャーイニシアティブ推進事業 350万円【新規】

本県が強みを持つ医薬、バイオ、健康、美容等のヘルスケア分野におけるスタートアップ(ヘルスケアベンチャー)の発掘・誘致等を促進

○ イントレプレナー推進事業 400万円【新規】

企業内資源等を活用したスタートアップやアトツギベンチャーの創出を図るため、イントレプレナー（社内起業家）を育成

2. ものづくりを担う人材の育成・確保

目標項目名	基準	実績	目標値(R12年度)	達成見通し
ものづくり人材の育成数 (中高大学生・社会人)	4,800人程度(R4年度) ・中高大学生4,600人 ・社会人200人	5,260人程度(R5年度) ・中高大学生約5,050人 ・社会人約210人 5,360人程度(R6年(※)) ※R7.1末時点 ・中高大学生約5,200人 ・社会人約160人	現状以上	達成可能
県内製造業における女性従業者割合	31.4% (R3年度)	— ※経済センサス年度のみ	3%以上の上昇	—

進捗状況及び今後の方向性

○ものづくり人材の育成数は、中高大学生向けについては、学校への講師派遣や企業見学会数、インターンシップの受入れ件数等がともに増加している。社会人向けについては、概ね横ばいとなっている。

○引き続き、各工業団体や高等教育機関等と連携しながら、デジタル・バイオ等先端技術を活用できる人材の育成や、女性活躍の推進、外国人材等の多様人材の確保・定着のための取組みを推進するほか、学生や若者を対象とした情報発信の強化により、ものづくりを担う人材の育成・確保に取り組んでいく。

2. ものづくりを担う人材の育成・確保

令和7年度の主な事業

○ **中高生ものづくり産業技術魅力探検事業 190万円【拡充】**

※金額は原則令和7年度当初予算案額

中高生を対象に県内でのものづくり産業の理解を深めるため、県内企業や県立公設試の見学会等を実施

○ **将来を担うものづくり人材育成事業 160万円【拡充】**

キャリア教育の充実のため、ものづくり企業から中学校への講師派遣や企業見学会等の取組みを支援

○ **理工系分野にチャレンジ！「中高生×富山で働く女性」交流促進事業 350万円【拡充】**

中高生のキャリアプランに県内の理工系分野の職種を選択肢に入れてもらうため、企業見学バスツアーや富山で働く女性との交流会を開催

○ **女性の活躍促進官民連携事業 770万円【新規】**

女性が働きやすい職場環境づくりを推進するため、「女性の活躍促進官民連携会議」を新たに設立し、優れた取組みの横展開を実施

○ **バイオ医薬品製造等人材育成事業 8,000万円【新規】**

製薬企業におけるバイオ医薬品専門人材の育成を推進するため、県立大学に寄附講座を設置し、バイオ医薬品の製造やGMPに関する研究・教育を充実

○ **外国人材活用・定着促進事業 932万円【新規】**

県内企業における高度外国人材等の活用・定着を促進するため、「とやま外国人材活用・定着支援デスク」として機能を強化

○ **富山の企業魅力発信プロジェクト事業 1,580万円【新規】**

県内企業の人材確保に向けた魅力発信を強化するため、企業情報サイト「就活ラインとやま」の活用促進や県内企業のインターンシップ促進等を支援

3. 産業集積を活かした成長産業の企業誘致、アジア等への海外展開等への支援

目標項目名	基準	実績	目標値(R12年度)	達成見通し
企業立地件数	62件 (R4年度)	40件 (R5年度)	68件以上	要努力
海外販路開拓に関するサポート件数	191件 (R4年度)	302件 (R5年度) 276件 (R6年度(※)) ※R7.1末時点	225件以上	達成可能

進捗状況及び今後の方向性

○企業立地件数は、R5年度は前年に生産能力増強が進んだ化学などで投資計画額の減少が見られ、件数が落ち込んだ（40件 うち製造業37件）。来年度は、企業誘致を戦略的に推進するための企業誘致推進会議の創設や誘致活動の推進により、本県産業の集積を活かした成長産業の誘致に取り組んでいく。

○海外販路開拓に関するサポート件数は、サポートデスク増設等の影響により、増加傾向にある。引き続き、海外への販路開拓を検討する県内企業の様々な相談に対応することにより、成長が著しいアジア地域等へのビジネス展開や販路開拓を後押ししていく。

3. 産業集積を活かした成長産業の企業誘致、アジア等への海外展開等への支援

令和7年度の主な事業

※金額は原則令和7年度当初予算案額

○ 企業誘致戦略推進事業 870万円【新規】

企業誘致の戦略的な推進に向けた企業誘致推進会議の創設や誘致活動等を実施

○ 企業立地助成金 14億2510万円

工場等の新增設に対して市町村と協調で助成金を交付

○ 企業立地セミナー 215万円

東京・大阪（隔年）・名古屋（隔年）でのセミナー開催による立地環境のPR

○ ASEANビジネスサポートデスク設置事業 700万円

県内企業の進出ニーズが高いベトナムに、「ビジネスサポートデスク」を設置するほか、タイ、ベトナムにおける県内企業の販路拡大等を通じて、本県中小企業の海外ビジネス展開を支援

○ T-Messe2025ものづくり総合見本市開催事業 8,000万円【新規】

10月30日からの3日間「富山県ものづくり総合見本市」を開催し、国内外との経済交流を促進
（Tの意味：Toyama、Technology、Trade、Teamの頭文字）

○ インドとの経済交流促進事業 555万円【新規】

インド経済デスクの設置、インド進出に係るセミナーや在日インド大使館での富山DAYの開催

○ 中小企業成長応援ファンド事業 30億円【新規】

県内の金融機関と県が一体となって中小企業成長応援ファンドを造成し、中小企業の新事業展開や販路開拓等の取組みを支援（R8～）

4. 中小・小規模企業に対する総合的支援

目標項目名	基準	実績	目標値(R12年度)	達成見通し
県内中小企業（製造業）の従業者1人あたりの付加価値額	982万円（R3年度）	981万円（R4年度）	1,240万円以上	要努力
中小企業支援センター、よろず支援拠点及び事業引継ぎ支援センターにおける相談件数	6,707件（R4年度）	6,815件（R5年度） 5,848件（R6年度(※)） ※R7.1末時点	4,470件以上	達成可能

進捗状況及び今後の方向性

○県内中小企業（製造業）の付加価値額、従事者数はR3年からR4年にかけてともに微増したが、付加価値額の伸びがより小さかったため、従業者1人あたりの付加価値額はやや減少した。目標達成に向け、中小企業における付加価値額増加は不可欠であり、引続き成長分野への参入、生産性向上、販路開拓、価格転嫁等の取組みを強化していく。

○中小企業支援センター、よろず支援拠点及び事業引継ぎ支援センターにおける相談件数は堅調に増加している。近年は物価高騰関係の補助金や経営相談等が増加傾向にあり、引続き富山県新世紀産業機構等と連携し、きめ細やかな支援を実施していく。

4. 中小・小規模企業に対する総合的支援

令和7年度の主な事業

※金額は原則令和7年度当初予算案額

- 中小企業トランスフォーメーション補助金 5億円【R⑥11月補正】**
DXやGXを通して業務プロセスや事業構造の変革による生産性向上を図る取組みを支援
- 中小企業デジタル変革推進事業 3,100万円【拡充】**
各種の講座の開催等を通じたデジタル化の状況に応じた段階的な支援を実施するとともに、関係機関との連携等による相談・伴走支援体制を強化
- 脱炭素化モデル中小企業育成事業 6,120万円【拡充】**
カーボンニュートラルの実現に向け、県内中小企業者を対象に、再エネ・省エネ設備導入を支援
- 富山型GX推進事業 300万円**
県内企業等におけるグリーントランスフォーメーション（GX）の実現に向けて、県で作成した取組手引書の普及・活用を通じた取組みの実践を支援
- 事業承継つなぐサポート事業 1,100万円【拡充】**
県内中小企業の技術や雇用などの経営資源を次世代に引き継ぐため、事業承継に向けた取組みを支援
- 価格転嫁総合推進事業 700万円【新規】**
適切な価格転嫁を推進するため、新たに金融機関と連携した支援体制を構築するほか、セミナーや専門家派遣による伴走支援等を実施
- 県制度融資「災害対応資金」の創設 融資枠20億円【新規】**
災害発生時に速やかに中小企業の資金繰りや再建を支援するため、「災害対応資金」を常設